

## 第2学年技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成25年10月10日（木）5校時  
学 級 2年2組(男子 14名 女子20名 計 34名)  
場 所 矢巾北中学校 2年2組教室  
授業者 岩淵 未央

### 1 題材名 商品の選択と購入

### 2 題材について

#### (1) 教材観

昨今、食の安全・安心に関する問題、環境問題、悪質商法による被害や多重債務など、消費生活に関する社会問題が深刻なものになっている。平成21年には、国民の消費者問題に対する関心の高まりを受け、消費者庁及び消費者委員会が設置された。また、平成24年に「消費者教育の推進に関する法律」が成立、施行され、「消費者教育を推進する多様な主体の連携を確保しつつ、効果的に行うこと」が定められるなど、地域における消費者教育の推進体制作りが求められている。

本題材は、内容Dの(1)イ「販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること」のにあたる。この内容は、小学校家庭科、内容Dの(1)「物や金銭の使い方と買物」と関連しており、イ「身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること」として既習の内容である。小学校で学習した基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るよう、系統性をふまえながら指導していきたい。

中学生は、小学生の頃と比較し、自分が使えるお金の額も増え、行動範囲が広がってくる。高度技術を応用した電化製品・情報機器に囲まれ、物資・サービスがあふれている。販売方法も身近な店舗販売のほかにも、通信販売や訪問販売などの無店舗販売など、多様化している。消費者にとって、多くの物資・サービスの中から選択、購入するのは、重要な意思決定である。ここでは、初歩的な意思決定の過程として、品質、機能、価格、アフターサービス、環境への配慮など、それぞれに応じた選択の視点が必要であることを考えさせたり、それらに関連する品質表示やマークの意味を知り、選択、購入の際に適切に活用できるよう指導していきたい。

#### (2) 生徒観

本校の学区は盛岡に隣接しており、大型ショッピングモールや現在開発されている盛南地区の新しい店舗へも比較的近く、商品や販売方法など選択しやすい環境にある。そのため、消費行動は豊富で、積極的である。アンケートによると、生徒の消費の中心は、文房具、菓子・飲料、衣類、本・雑誌・マンガである。また、通信販売（カタログ・テレビ・インターネット）を利用したことがある生徒は全体の60%で、その中のインターネットショッピングの利用者は全体の30%で、衣類やCD、部活用品を購入している生徒が多かった。商品によって購入方法を選択しているようである。しかし、商品を選択するポイントとしては、値段やデザインで選んでいる生徒が多い。これまでの失敗や満足できなかった買い物について聞くと、「衣類のサイズを間違えた」、「シャープペンシルの芯の太さを間違えた」、「つまらないゲームを買ってしまった」などと、表示などの商品の情報を確認したり、比較することで防げた失敗も多いことがわかる。このような実態をふまえ、よりよい消費生活のあり方を実践的な活動を通して考えさせたい。

### (3) 指導観

指導にあたっては、中学生の身近な事例を取り上げ、興味・関心を大事にしながら、生徒の主体的な消費行動につながるよう指導過程を工夫していきたい。また、多種多様な情報の中から、適正な情報を収集・整理し、自分や家族の生活状態に合わせて選択したり、意思決定する場面を設定することで、実践的な活動への意欲につなげていきたいと考える。そして、消費者の基本的な権利と責任について理解させ、消費者としての自覚を高めていきたい。

### 3 題材の指導目標

「消費」の側面から家庭生活を振り返らせながら、家庭生活における消費の重要性に気づかせる。物資やサービスの適切な選択、購入及び活用などができ、環境に配慮した消費生活への実践的な態度を身につけさせる。

### 4 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
自分や家族の消費行動に関心を持ち、その利点と問題について考え、よりよい消費生活を実践しようとしている。	収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択・購入及び活用、環境に配慮した生活について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	自分や家族の生活や場面に合った販売方法や支払い方法について考え、商品に応じた選択ができる。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 題材の指導計画並びに評価

時間	学習活動	生活や技術への関心・意欲態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の筆箱の中身を調べ必要性を検討する。</li> <li>商品を購入する際の流れと商品を選択する際の留意点について知る。</li> </ul>	自分や家族の消費行動に関心を持ち、その利点と問題について考えようとしている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>学習プリント</li> </ul>
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の情報を収集・整理し、自分の生活や考えに合った商品の選択をする。</li> </ul>		収集・整理した情報を活用し、商品選択について考え、工夫している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>学習プリント</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の販売方法と支払い方法の意味を知り、それぞれの利点や問題点を考え、まとめる。</li> <li>契約の意味がわかる。</li> </ul>				身近な販売方法や支払い方法についてその長所と短所がわかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>学習プリント</li> <li>テスト</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生にとって身近な商品を例に、自分の生活に適した販売方法や支払い方法を選択する。</li> </ul>	販売方法の利点や問題点を知り、自分の生活に適した支払い方法を見つけようとしている。		販売方法と支払い方法の種類と特徴がわかり、場面に応じた選択ができる。		

6 本時の指導

(1) 本時の目標

収集・整理した情報を活用し、商品選択について考え、工夫している。

【生活を工夫し創造する能力】

(2) 〈「思考力・判断力・表現力等」を育てるための言語活動の充実のポイント〉

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報を分析・評価し、論述する ④</li> <li>2 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる ⑥</li> </ol> |
|--|

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意事項 「 」内は予想される生徒の反応	◇教具 ◆評価
導入 5分	1 学習課題の把握 ・生活経験を想起し、課題を把握する。	○自分の消費行動をふり返らせ、商品を購入する時にどんなことに気をつけているのか考えさせる。 ○本時の学習課題を提示する。	◇商品陳列の映像 ◇学習プリント
商品を選ぶために必要な情報を整理しよう。			
展開 40分	2 学習課題の追究 (1) 提示された商品を比較し一つを選択する。  (2) 自分が選んだ商品とその理由をグループ内で発表する。	○グループごとに違う商品を提示する。複数の種類の中から一つの商品を選び、その時決め手になったことは何か、プリントに記入させる。「デザインが気に入った」、「値段の安い物」、「使いやすいそう」 ○自分がどんな理由でその商品を選んだのかを、グループ内で発表させる。	◇比較する商品  ◆自分が商品選択した理由を説明して る。(観察)
	言語活動④：情報を分析・評価し、論述する		
	(3) 包装や表示からわかる情報をさらに集め、表にまとめる。	○グループ内で、前時に学習した「商品を選択する際のポイント」に沿って情報を整理させる。それ以外に得た情報も加え、表にまとめさせる。	◆包装や表示からわかる情報に着目し、自らの商品選択の根拠を見出そうとしている。(観察)
	3 学習課題の解決	言語活動⑥：互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる	
	(1) どんな情報を集めたか、グループごとに発表する。 (2) 再度どの商品を選択するか、自分の考えを記述し、発表する。	○各グループで整理した情報の中で、その商品を選ぶ時に優先になった順位とその内容を発表させる。 ○最初の商品選択と、多くの情報を整理した後の商品選択と、意志決定の違いに気づかせたい。	◆収集・整理した情報を踏まえたうえで、優先する情報を考えながら、商品選択を工夫している。 【工】(プリント記述)
終結 5分	4 まとめと確かめ  5 次の学習の内容の確認	○商品の種類によって優先順位が違うことに気づかせる。 ○次回は、販売方法と支払い方法について学習することを知らせる。	